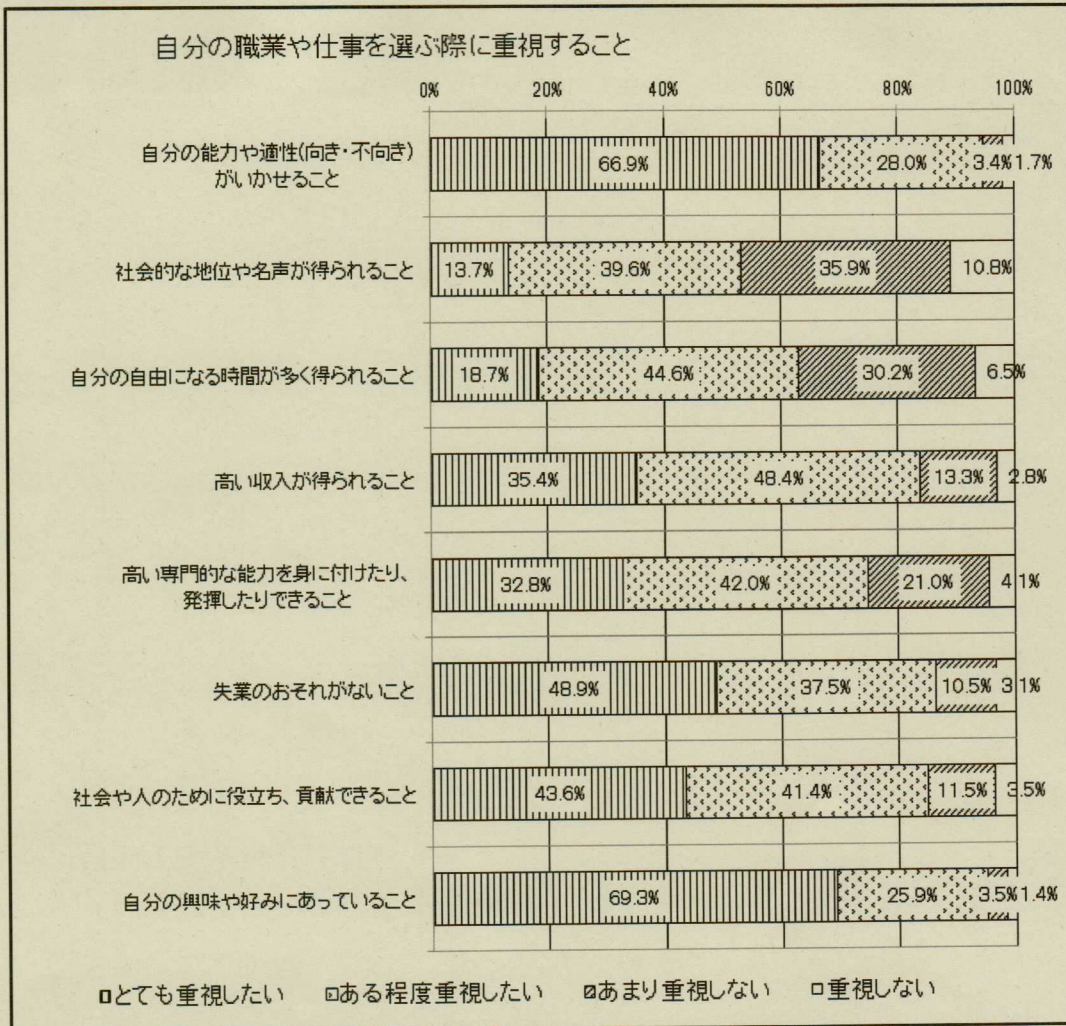


【参考】 自分の個性を知り、適性を考えること

下のグラフは、平成25年・国立教育政策研究所「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査」の結果の一部です。「自分の職業や仕事を選ぶ際に重視すること」の結果を見ると、「とても重視したい」「ある程度重視したい」を合わせた割合が高いのは、①自分の興味や好みに合っていること（95.2%）、②自分の能力や適性（向き・不向き）がいかにせること（94.9%）と続いています。この結果からも、自分の進路について考えるとき、自分の個性を知り、適性を考えることはとても大切だといえるかもしれません。



自分について見つめ直すことで、自分の個性を見つけるヒントを得ることができます。ぜひ、試みてください。

- 自分を見つめるポイントは？
  - ・ どんな性格か。どんな行動をとりやすいか。
  - ・ 教科の学習で得意なもの、好きなものは何か。
  - ・ 健康や体力について、自信のあることは何か。
  - ・ 学校の外での活動や趣味・特技はどんなことか。
  - ・ 将来なりたい職業や、関心のあることは何か。
- 自分を見つめるための方法は？
  - ・ ふだんの自分の生活をふり返ってみる。
  - ・ 友人や家族はどう見ているかを知る。
  - ・ 検査の結果や学活等で実施する活動、先生からの評価も参考にする。
- アドバイス
  - ・ 上記の方法によって見えてきた個性は、時間とともに変わっていくことも多くあります。また、努力によっていろいろな力を伸ばしていくこともできます。
  - ・ どのような方法でも自分の個性や適性を完全に知ることは難しいものですので、1つの結果がすべてとは思わないことと、周りの人からのアドバイスも貴重な資料として考えるとよいと思います。